教科目標

くすり総合学科

バイオ医療研究専攻

1．養成目的

創薬から販売までの薬に関わる各専門分野で、薬のスペシャリストとして人々の日々の生活の質の向上に貢献することができるように、常に自己研鑽を怠らない職業人を養成する。

2．教育目標

薬の各専門分野に必要とされる知識・技術を学び、資格を取得するとともに、他者理解、自己理解を深めるためのコミュニケーション能力を身に付けた人材となる。

3．カリキュラム

教育内容		科　目	総時間数 (総単位数)
モチベーションプログラム	基礎分野	導入教育ⅠⅡ / プロ養成講座Ⅰ / 業界研究 / 就職試験対策講座 おもてなし検定 / 滋慶選択 / コンピュータⅠ / 英会話 / 国際性講座 生命科学 / 薬学と社会 / 基礎数学 / プロ養成講座ⅡⅢ コンピュータⅡ	３７５ （２５）
ミッションプログラム	専門基礎分野	生物学 / 化学 / 生理学（生命現象の基礎） 免疫学（身体を守る仕組み）/有機化学 / 身体の作りと働き / 生化学 薬理学（医薬品の構造と作用）/解剖学 / 微生物学 / 遺伝子工学 実験動物学 / 医薬品製剤論 / 薬物動態学 / 動物細胞工学 化学物質の性質と反応 / 医薬品医療機器等法 / 卒業研究ⅠⅡ	９３０ （６２）
プロフェッショナルプログラム	専門実技分野	生物実習 / 化学実習 / 応用実習 /細胞培養実習 /遺伝子工学実習 実験動物飼育・取扱実習 / 医薬品製剤実習 / 動物細胞工学実習 機器分析実習 / 中級バイオ試験対策講座	６３０ （２４）
	専門資格分野	有機溶剤作業主任者 / 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 **【選択】** 実験動物技術者２級対策講座	３０ （２） 【選択】 ３０ （２）
合計		【必　修】１９６５（１１３） 【選　択】　３０（２）	

※卒業・進級に必要な総授業時間数　1年次　1035時間(57単位) ／ 2年次　930時間(56単位)

4．学年（学期）目標

学年	到　達　目　標
1年 （前期）	【セルフマネジメントⅠ/基礎・専門基礎】 薬の学びの基本となる生物・化学に関する知識と技術を身に付け、２年後の目標を明確化する。 ・他者とのコミュニケーションを通して自己理解、他者理解を深める。 ・社会人としての基礎的なマナーを身に付ける。
1年 （後期）	【セルフマネジメントⅡ/基礎・専門基礎】 目標とする業界の専門知識・技術を修得し、職業人となる自己形成をする。 ・現場体験実習を通して業界の状況を知り、目指すべく職業人像を持つ。 ・将来を希望する業界に関する研究を行い、就職活動に必要な知識を身に付ける。
2年 （前期）	【チームマネジメント/専門教育】 業界の求めるプロ意識を育て、業界の期待に応える専門知識・技術を身に付ける。 ・薬業人としてのプロ意識を持ち、身構え、気構え、心構えを身に付ける。 ・専門知識、技術を深め即戦力となる資格取得を目指す。 ・就職活動を通して自分の目指す職種の社会的な役割を知り、自身の進路を決定する。
2年 （後期）	【プロジェクトマネジメント/応用教育】 卒業研究を通して専門技術とコミュニケーション力・プレゼンテーション能力を身に付け、薬業界の即戦力となる力を付ける。 ・卒業研究発表を通して社会で即戦力となれる総合的専門知識・技術およびプレゼンテーション能力を発揮し、キャリア教育の集大成を目指す。

5．取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
おもてなしマスター検定	必修	滋慶教育科学研究所	試験
中級バイオ技術者	必修	日本バイオ技術教育学会	試験
有機溶剤作業主任者	必修	国家資格 （都道府県労働局安全課、労働基準監督署）	講習後、終了試験
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	必修	国家資格 （都道府県労働局安全課、労働基準監督署）	講習後、終了試験
実験動物２級技術者	選択	日本実験動物協会	試験
登録販売者	選択	各都道府県	試験

6．就職分野

就　職　分　野	職　　種	核　能　力
製薬会社、動物試験機関、 公的研究機関	開発、実験技術	動物細胞培養技術、動物実験技術、 分子生物学的実験技術
製薬会社、動物試験機関、 公的研究機関	製造・品質管理、分析	分析技術、動物細胞培養技術、 分子生物学的実験技術
ドラッグストア、保険調剤薬局	登録販売者 薬局スタッフ	人体の働きと医薬品、医薬品に関する基本知識、法令の知識

教科目標

くすり総合学科

ドラッグストア・調剤薬局事務専攻

1．養成目的

創薬から販売までの薬に関わる各専門分野で、薬のスペシャリストとして、人々の日々の生活の質の向上に貢献することができるように、常に自己研鑽を怠らない職業人を養成する。

2．教育目標

薬の各専門分野に必要とされる知識・技術を学び、資格を取得するとともに、他者理解、自己理解を深めるためのコミュニケーション能力を身に付けた人材となる。

3．カリキュラム

教育内容		科目	総時間数 (総単位数)
モチベーションプログラム	基礎分野	導入教育ⅠⅡ / プロ養成講座Ⅰ / 業界研究 / 就職試験対策講座 おもてなし検定 / 滋慶選択 / コンピュータⅠ / 英会話 国際性講座 / 生命科学 / 薬学と社会 / 基礎数学 プロ養成講座ⅡⅢ / コンピュータⅡ	３７５ （２５）
ミッションプログラム	専門基礎分野	生物学 / 化学 / 生理学（生命現象の基礎） 免疫学(身体を守る仕組み)/ 有機化学 / 身体の作りと働き 医薬品に共通する特性と基本的な知識 / 人体の働きと医薬品 主な医薬品とその作用Ⅰ / 薬事関係法規・制度 医薬品の適正使用・安全対策 /調剤薬局事務実務Ⅰ 医薬品製剤論 / 生薬学 / 漢方総論ⅠⅡ / 症例研究ⅠⅡ 調剤薬局事務実務Ⅱ / ドラッグストア運営演習	７３５ （４９）
プロフェッショナルプログラム	専門実技分野	生物実習 / 化学実習 / 調剤薬局実習前教育 調剤薬局実習Ⅰ / 登録販売実習者前教育 / 登録販売者実習Ⅰ 医薬品製剤実習 / 調剤薬局実習Ⅱ / 調剤薬局実習後教育 登録販売者実習Ⅱ / 登録販売者実習後教育	1110 (40)
	専門資格分野	調剤報酬請求事務専門士3級講座 / 登録販売者試験対策講座ⅠⅡ 調剤報酬請求事務専門士2級講座 【選択】 有機溶剤作業主任者 特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	255 (17) 【選択】 30 (2)
合計		【必　　修】2475(131) 【選　　択】30(2)	

※卒業・進級に必要な総授業時間数

ドラッグストア・調剤薬局事務専攻　1年次　1365時間(73)　／　2年次　1110時間(58単位)

4．学年（学期）目標

学年	到　達　目　標
１年 （前期）	【セルフマネジメントⅠ/基礎・専門基礎】 薬の学びの基本となる生物・化学に関する知識と技術を身に付け、２年後の目標を明確化する。 ・他者とのコミュニケーションを通して自己理解、他者理解を深める。 ・社会人としての基礎的なマナーを身に付ける。
１年 （後期）	【セルフマネジメントⅡ/基礎・専門基礎】 目標とする業界の専門知識・技術を修得し、職業人となる自己形成をする。 ・現場体験実習を通して業界の状況を知り、目指すべく職業人像を持つ。 ・将来を希望する業界に関する研究を行い、就職活動に必要な知識を身に付ける。
２年 （前期）	【チームマネジメント/専門教育】 業界の求めるプロ意識を育て、業界の期待に応える専門知識・技術を身に付ける。 ・薬業人としてのプロ意識を持ち、身構え、気構え、心構えを身に付ける。 ・専門知識、技術を深め即戦力となる資格取得を目指す。 ・就職活動を通して自分の目指す職種の社会的な役割を知り、自身の進路を決定する。
２年 （後期）	【プロジェクトマネジメント/応用教育】 卒業研究を通して専門技術とコミュニケーション力・プレゼンテーション能力を身に付け、薬業界の即戦力となる力を付ける。 ・卒業研究発表を通して社会で即戦力となれる総合的専門知識・技術およびプレゼンテーション能力を発揮し、キャリア教育の集大成を目指す。

5．取得目標資格

資格名	必・選	認定団体	認定方法
おもてなしマスター検定	必修	滋慶教育科学研究所	試験
登録販売者	必修	各都道府県	試験
調剤報酬請求事務専門士	必修	専門士検定協会	講習後、終了試験
有機溶剤作業主任者	選択	国家資格 （都道府県労働局安全課、労働基準監督署）	講習後、終了試験
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	選択	国家資格 （都道府県労働局安全課、労働基準監督署）	講習後、終了試験

6．就職分野

就　職　分　野	職　　種	核　能　力
保険調剤薬局、ドラッグストア	登録販売者 薬局スタッフ	人体の働きと医薬品、医薬品に関する基本知識、法令の知識
製薬会社	営業	人体の働きと医薬品、医薬品に関する基本知識、法令の知識